

## ◎6月上旬の水温・塩分・透明度の状況

水温：表層「かなり高め」・底層「やや高め」、塩分：表層「平年並み」・底層「甚だ高め」、透明度：「かなり高め」

## ● 機船船びき網

○イワシシラスは平年値を上回る漁獲であった（図1）

## ● 小型底びき網

### 石桁網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
シヤコ	少ない ↓	同程度 ＝	減少 ↓	2
シタ類	多い ↑	増加 ↑	同程度 ＝	3
ヒラメ	多い ↑	増加 ↑	同程度 ＝	4
メイタガレイ	少ない ↓	増加 ↑	減少 ↓	5
マゴチ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	6
テナガダコ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	7
ガザミ	多い ↑	増加 ↑	同程度 ＝	8

※アカガイ・トリガイは麻痺性貝毒が検出されたため、2月22日より出荷の自主規制を行っています。

図1

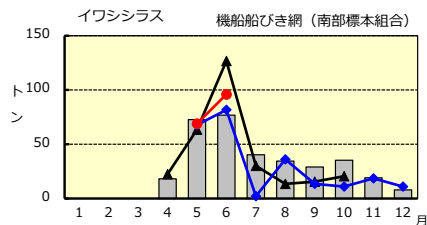


図2

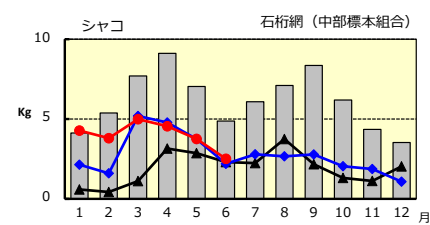


図3

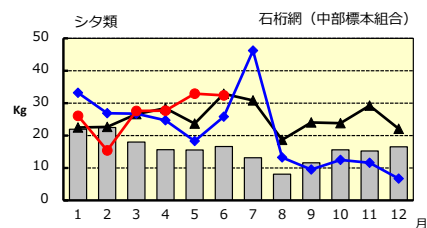


図4

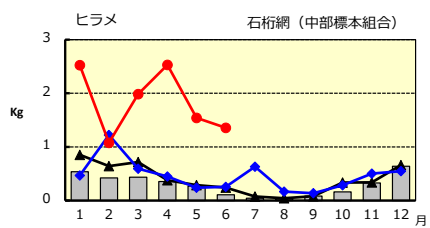


図5

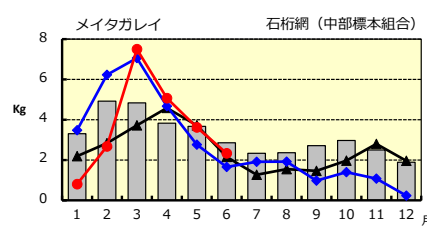


図6

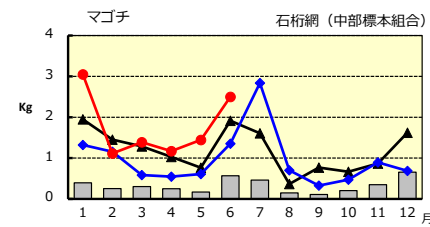


図7

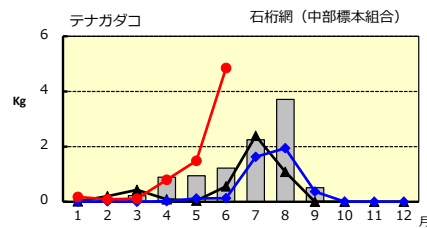


図8

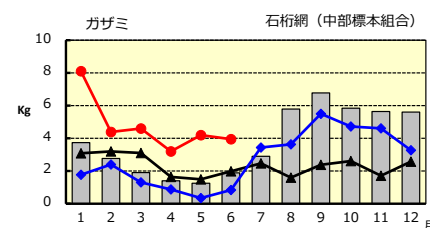


図1は月漁獲量（トン）を示し、その他の図は1日1隻当たりの漁獲量（kg）を示す

■ 平年値      ● 令和元年      ◆ 平成30年      ▲ 平成29年

板びき網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
スズキ	少ない ↓	増加 ↑	増加 ↑	9
タチウオ	多い ↑	増加 ↑	減少 ↓	10
マダイ	多い ↑	増加 ↑	減少 ↓	11
クロダイ	少ない ↓	同程度 ＝	減少 ↓	12
アジ類	同程度 ＝	同程度 ＝	同程度 ＝	13
ジンドウイカ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	14

板びき網（南部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
ヒラメ	多い ↑	増加 ↑	減少 ↓	15
メイタガレイ	少ない ↓	同程度 ＝	減少 ↓	16
ハモ	多い ↑	増加 ↑	減少 ↓	17
マダコ	少ない ↓	減少 ↓	増加 ↑	18

図 9

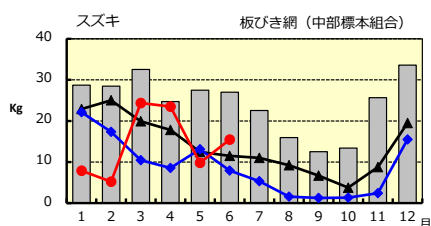


図 10

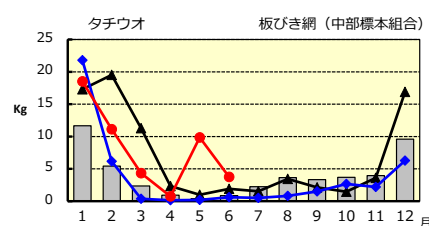


図 11

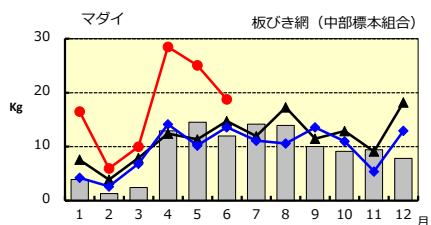


図 12

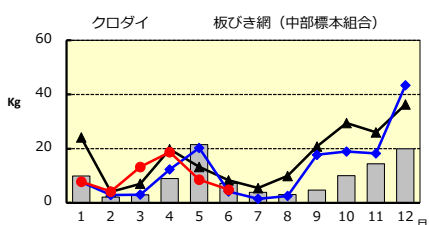


図 13

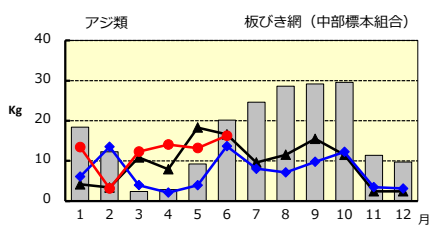


図 14

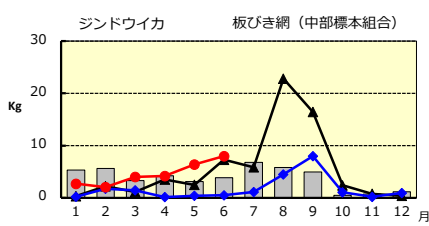


図 15

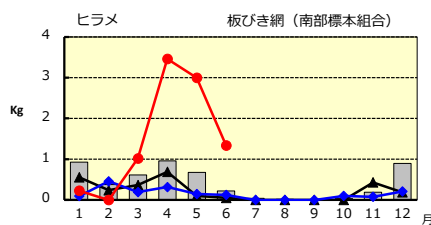


図 16

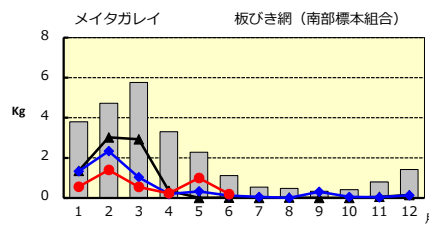


図 17

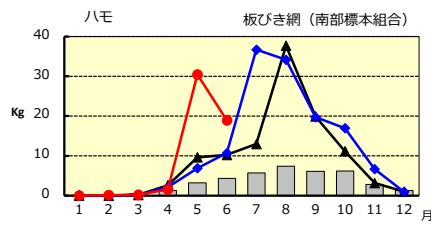
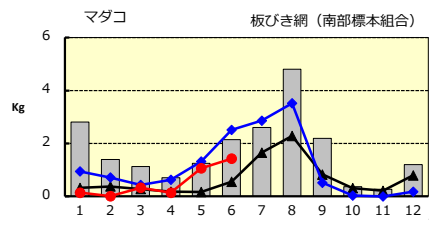


図 18



1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す



平年値



令和元年



平成30年



平成29年